

株式会社

丸浩 重機工業

Maruhiro Jyuki Kogyo Co.Ltd



会社案内

COMPANY PROFILE

SINCE 1990.4.1

～沖縄の基礎工事～

大地へのチャレンジ

株式会社丸浩重機工業は

基礎工事の原点を見つめながら

地域と共に成長し

新しい未来を創造する



代表挨拶



日頃より、お客様各位には多大なご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私たち丸浩重機工業は平成2年の創業以来、皆様のご愛顧にお応えすべく、常に現場の第一線で、「創意工夫と顧客満足の向上」を信念に、確かな技術と、細やかな配慮でひとつひとつの事案に取り組んで参りました。

土木・建築事業における私たちの社業は、暮らしを便利で豊かなものにする高架橋や港湾などの建築基礎工事をはじめモノレール、高速道路などの橋梁設置に伴う基礎工事、また安らぎの空間となる住宅の地盤改良、経済の発展を担うビジネス地の構築、皆様ひとりひとりの生活を支え、明るく幸せに満ちた未来への希望を形とする重要な任務だと考えております。

そして、次世代の様々な施工ニーズに応えるべく、日々の業務を通して得た経験と実績を生かし、有効な工法の技術革新だけでなく、地球環境保全にも積極的に取り組んでまいり所存です。

今後ともお引き立て、ご指導を賜りますよう、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 比嘉俊浩

比較なき
嘉たき社業
俊才の力と供に
浩大無辺

丸浩重機工業

社会が必要とする会社になる。 地域と共に成長し続ける。

弊社の基本理念は、倫理と営利の両立を基本理念とし、誠実なものの作りを基本に、安全で良質な建造物の提供を通じて、広く社会に貢献することを基本的な考え方としています。また、「事業活動を通じた社会貢献」「経営基盤としての社会貢献」の2つを軸として、品質の確保や法令順守はもとより、さまざまな活動への取り組みを通じて、経営理念の価値向上に努めます。

1 基礎工事を通して社会に貢献する。

1

基礎工事(杭打ち工事)を通じて沖縄県の建築・土木業界のため、
しいては社会全体の為に貢献します。

2 人への思いやりの心を大事にして環境に最大限配慮する。

2

人と人とのふれあいを大事に、思いやりの心を育て、杭打ち工事につきものの騒音や振動に配慮します。

3 日々、技術の革新に努め業界の発展に努力する。

3

長年培った経験と知識をもとに、より環境に優しく、効率的な技術の開発、社員ひとりひとりの技術力向上に力を注ぎます。

4 全従業員と家族の物心両面の幸福を追求する。

4

仕事だけではなく自分自身と家族の健康を考え全従業員と家族が幸福になる職場づくりを目指します。



顧客満足の追求。

それが、丸浩スピリッツです。

事業構造

定期的な社内会議にて、各現場の問題点の提起と改善策の考案に取り組んでいます。また、技術向上のための資格取得や、様々な講習にも積極的に参加しています。

運営管理

現場の安全管理はもちろん、スケジュール管理や突発的なトラブルに対する適切な対応など、一貫した管理体制の下、安心できる運営管理を遂行しています。

設計・ エンジニアリング

現場に応じた地盤状況により、仮設土留め設計計算や仮設構台の設計計算、杭基礎設計計算などを導入し、専門知識を活かしてあらゆる困難な現場などを解決致します。また、環境に優しい工法の提案や、新しい技術の習得など、常に改善点を克服し地域に根ざした工事を行っています。

建設

騒音や振動、排気ガスなど、近隣の環境への配慮を忘れず、地域に優しい工事を行っています。また、新工法の開発にも積極的に取り組み続けています。

企画提案

長年のキャリアと豊富な知識を活かし、それぞれの現場に応じた的確な工事方法をご提案することで、工期の短縮、予算の削減に務めています。

なんとなく…ではなく **確実な評価** を求めて。

弊社では基礎工事業における、すべてのプロセスにおいて、お客様が期待される価値を、数値化・可視化して具体的に評価できるようにします。また、お客様にとってのトータル価値を最大化していくために技術や知識を結集して「まるひろ」ならではのサービスを提供し、様々なニーズに応えます。

安全衛生 大会

社員の意識向上 と 団結力育成



幾つもの現場を同時に進行させるため、通常はグループ単位で業務に取り組む社員たちが、この日一斉に集まり、日頃の業務での問題点、改善点を話し合います。こうした話し合いを通して、ひとりひとりの意識を向上し、日々の業務の円滑な進行を推進します。



社内の安全パトロール部隊が、定期的に各現場を訪れ、基本装備の正しい着用確認から、車両の安全点検、作業現場における安全への配慮などの各種項目を細かくチェックします。また同時に、社員の安全意識調査や改善策の考案も行い、常に安全に対する意識向上に努めています。

住宅、オフィス、都市基盤の構築 私たちの挑戦はまだまだ続きます

暮らしよい明日づくりのために、弊社は土地と人をつなぐお手伝いを致します。
あらゆる場面に応じて、長年のキャリアと豊富な知識を活かし、沖縄の地域に根ざした工法を提案し続けます。



一般住宅 基礎工事

家族のやすらぎの場ともなる「住宅」。安心して快適な住まい作りのため、弊社はその基礎作りをお手伝いいたします。振動や騒音が少なく、排出土も無いなど環境に配慮した工法を用い、狭小地でも確実な基礎工事をご提案いたします。

ビル・マンション 基礎工事

沖縄の経済発展を担うビジネスビル。とした基礎構築、確かな品質管理、弊社では、あらゆる場所に応じ、基礎工事を推進いたします。



す。



土木・港湾・河川橋梁 基礎工事



規模の大きなビル建設には、しっかり
周囲交通への配慮が必要になります。
た土壌に応じた工法を用い、的確な

よりよい暮らしづくりのために、弊社では、土木・港湾・河川橋梁建設の基礎工
事にも貢献しています。長年のキャリアと、豊富な知識、そして確かな技術力
は、県内のあらゆる公共施設の発展に大きな役割を担っています。また数々の
現場で培った経験を糧に、新技術の開発にも取り組んでいます。



01 硬質地盤クリア工法

『NETIS』登録済み(登録番号 CB980118-V)

騒音や振動を最小限に抑え、軽量・コンパクトな圧入機に加え
仮設レス化で、狭小地や傾斜地、水上での工事も可能。
最短の工期で経済性、環境性に優れている。



◎ 低騒音・低振動で環境にやさしい工法

硬質地盤(玉石混りの砂礫層や岩盤等)に鋼矢板を打設する場合、堀削機と杭打機の2種類の大型機械を用いて作業を行います。従来の方法では環境への悪影響も心配され、安全性にも問題があります。これらのマイナス要素を改善され開発されたのが「硬質地盤クリア工法」です。

硬質地盤クリア工法は圧入機本体も軽量・コンパクトで鋼矢板とオーガを連動、圧入することで騒音・振動を抑え、高い安全性を誇ります。周囲への威圧感も無く、システム技術による仮設レス化で、スピーディーな施工で環境負担にもやさしく、工期自体も短く低コストで行える工法です。又、従来の工法では困難とされる傾斜地や水上での施工も可能です。

この工法に適した現場

硬質地盤

狭い場所や傾斜地

市街地

水上施工

サイレントパイラー F201 1台

U型鋼矢板400~600mm幅、単独~硬質地盤圧入に対応

サイレントパイラー F111 1台

スーパークラッシュ SCU-400M 2台

サイレントパイラー SCU-ECO400S 1台

U型鋼矢板400mm幅・II型・III型・IV型・単独~硬質地盤圧入に対応



自然環境にも配慮し、生態系に影響を及ぼす恐れがほとんどありません。

パイラーエコオイルとパイラーエコグリース

重機本体の作動油には、植物系の生分解性油脂類を使用しています。この生分解性油脂類は、万が一、水中や土壤に油脂類が流出しても自然界のバクテリアによって分解され、自然分解されます。土壤汚染や水質汚染の心配がなく、生態系の影響がまったくありません。新型の圧入機には、圧入機専用の生分解性作動油（パイラーエコオイル）とグリース（パイラーエコグリース）を標準採用しています。



圧入の優位性

- 無振動・無騒音
- 転倒しない
- 圧入機本体は軽量・コンパクト
- 杭の支持力を確認しながら施工できる
- 高精度の施工ができる

芯抜き理論

(圧入オーガの連動)
圧入とオーガー掘削を連動させた当社独自の「芯抜き理論」により、圧入の優位性を損なうことなく、硬質地盤への圧入を現実にする。

多くのメリット

- 玉石・礫を含む地盤や岩盤などの硬質地盤への圧入ができる
 - 従来工法の杭打機のような転倒の危険や威圧感がない
 - 圧入機本体は軽量・コンパクトで、狭い場所や傾斜地でも施工可能
 - 掘削は最小限に抑えるため排土量は極めて少なく、強固な杭連続壁を構築できる
 - 独自のシステム施工技術により、環境負担の少ない「グリーン工法」※を現実
- ※株式会社技研製作所により、平成13年度「環境賞」を受賞

硬質地盤クリア工法は、国土交通省の新技術活用システム「NETIS」に登録済。当社では、環境性、安全性、急速性、経済性、文化性に里点を置き、(登録番号CB980118-V)で、技術活用パイロット事業に用いる工法として運用中。

五大原則

弊社では、環境性、安全性、急速性、経済性、文化性に重点を置き、地域住民や施工主等に配慮し以下の事を現実になります。

環境性 より環境に配慮した機械と工法の組み合わせにより、排土量や公害、振動、騒音を極端に抑える技術を用います。

安全性 オーガと杭は独自のキャッチング機構で固定し、圧入機本体は軽量・コンパクトなうえ、操作はラジコンによる遠隔からの操作が可能により高い安全性を保持が期待できます。

経済性 機械・装置や工法のシステム化により、現場作業員は最小人数で済み、工期の短縮により経済的負担を少なくします。

急速性 システム化した機械・装置で合理的かつ円滑に施工ができるため工期が最短の時間で完了する事が期待でき、規制の厳しい地域や夜間でも、工事時間帯の制限を受けずに急速施工を可能にします。

文化性 杭表面に化粧材を施することで、景観との調和した高密度・高品質の美しい壁体の構造物を構築します。

02

山留基礎工事

土砂の崩壊や地下水の流出を防ぐ山留

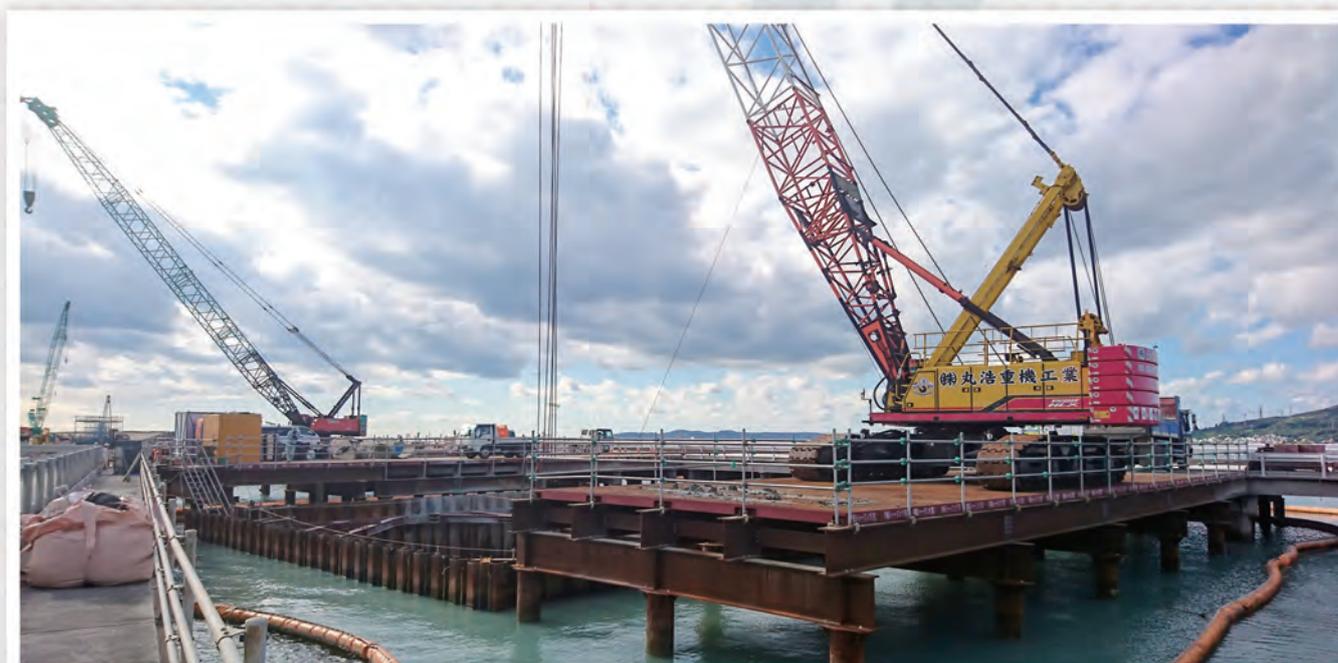
基礎を作るために土を掘ると、そこに元々あった地下水の影響や、積み重なった土砂の圧力によって土砂崩れが発生してしまう恐れがあります。そうした事故を防ぎ、土砂を支持する工事を山留と呼びます。これにより、安全に工事を行うスペースの確保や作業の安全性を向上させます。



03 仮設棧橋工事

工事の安全な進行に必要な仮設棧橋

仮設棧橋は、道路工事等で既設の道路や橋を一時的に切り回す為に迂回路として仮設として設置する棧橋や、本体橋梁工事の基礎工や上部工の施工を行うための仮棧橋として設置されます。



04

既存杭引き抜き工・既製杭破碎工

構造物とりこわし工における既存杭の引抜き工事・破碎工事

杭抜き工事既存杭の外周をケーシングで削孔し、杭周面の摩擦抵抗を解放し、ケーシングを上げた後に、地中の既存杭にワイヤーロープを取付け、クレーン又は本体機で引き抜く工法。

また、二軸同軸式のアースオーガーにより、スクリーとケーシングを逆転させながら掘削を行います。ケーシングの高い剛性力により、精度の高い掘削と孔壁の崩壊を防止する事ができる工法です。礫層地盤及び岩盤等を掘削でき、その他地中障害撤去(既存地下躯体等)の破碎を行い、新設の山留杭の打設を可能とします。



05 リーダーレス工法



組み合わせ次第で、あらゆる工事に対応

リーダーレス工法とは、ベースマシンにリーダーを装着していない杭打機の総称です。各種ベースマシン（ラフタークレーンベース、油圧ショベルベース）とアタッチメント（アースオーガー、パイプロハンマー、油圧圧入機等）の組み合わせにより各種施工方法があり、地盤条件・施工条件等により機種を選定します。ラフタークレーンベースのリーダーレス杭打機の中にはアンギラス杭打機（アンギラス工法）があります。アンギラス工法とは、ラフタークレーンのブーム先端に減速機・オーガスクリューを直接取り付けて、削孔する工法のことです。



06

リーダー吊り下げ式工法

狭くて、高低差がある場所、
三点杭打ち機などが組立困難の場所で活躍

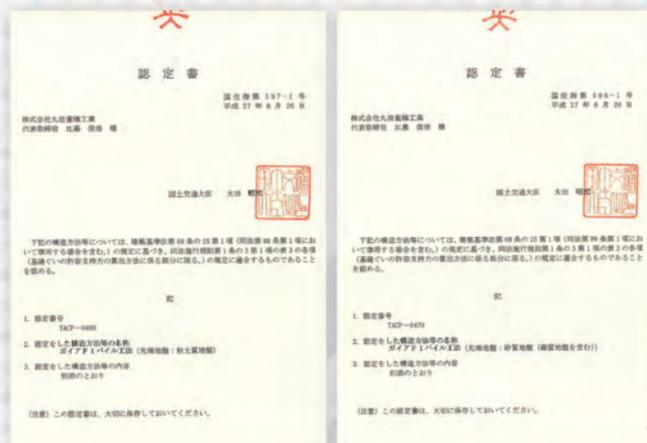
ラフタークレーンに、リーダーを直接取り付けて掘削作業を行う工法です。平場でしか、作業出来ない三点杭打ち機に比べ、リーダー吊り下げ式は、段差のある場所でもブームを伸ばして、作業半径が確保できることが特徴です。



07

国土交通大臣認定工法

回転貫入鋼管杭工法 ガイアF-1パイル工法



- 工法開発 ガイアF-1パイル工法は、ガイアパイル工法の優れた技術を取り入れて業界随一の56杭種開発。
- 特に、沖縄特有地盤・島尻泥岩対応型(先端翼角度10度開発)(地盤状況に応じて先端角度10度と従来型先端角度15度を選択出来る)
- 圧倒的な杭種の多さ、経済設計が可能
- 鋼管径φ101.6mmからφ457.2mmで拡翼径φ200mmから1150mmまで揃えた鋼管杭で、幅広いニーズに対応する「国土交通大臣認定工法」です。



大臣認定取得鋼管杭立会載荷試験
ガイアF-1パイル工法



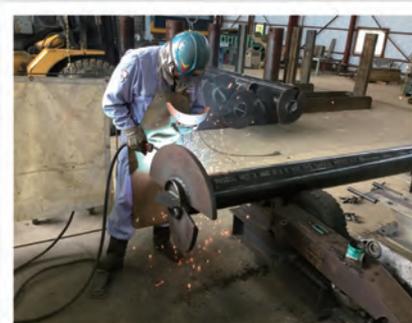
立会施工試験 鋼管径×130=59.5m
杭径φ457.2 拡翼φ1150 杭長61.5m



名護浄水場
杭径φ31.85 拡翼φ650 杭長29.5m



鋼管杭ガイアF1製造認定工場
北部営業所



08

スカイボックス

移動式クレーン先端に取り付けたデッキで高所作業ができる作業台です。高さ最大約60m

無線連絡によって、慎重に正確に指定の場所に近づけます。

ボックスは常時自動的に水平状態を保持し、より安全で十分な作業が保障され、スカイボックスを装着した状態でも搭載荷重に応じて、移動式クレーンとしてのモーメントリミッタが作動しますので安全に作業が出来ます。



09

キャッチホーク工法

狭くて高低差がある場所、三点杭打ち機などが組立困難な場所で活躍。クローラークレーンに、リーダーを直接取り付けて掘削作業を行う工法です。

平場でしか作業出来ない三点杭打ち機に比べ、キャッチホーク工法は、段差のある所でも作業半径が取れるのが特徴である。



10

同軸二軸式工法セパレート型

軟弱地盤等の崩壊防止保護に最適

二軸同軸式のアースオーガーにより、スクリューとケーシングを逆転させながら掘削を行います。ケーシングの高い剛性力により、精度の高い掘削と孔壁の崩壊を防止する事ができる工法です。小型のベースマシンに取り付けた場合でも中型機並みにパワーを発揮し、より規模の大きい施工条件にも対応できます。



11 地盤改良工事

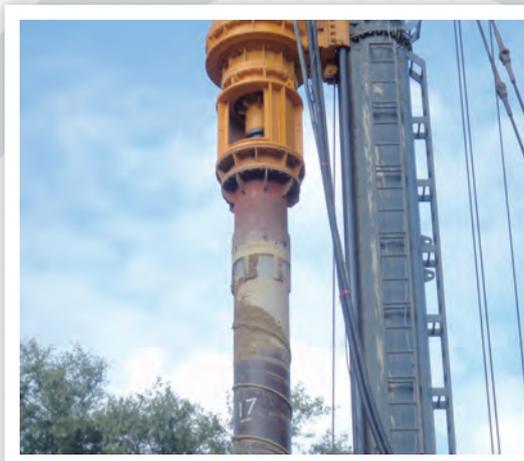
地盤改良とは、建築物、構造物などを地盤上に構築するにあたり、安定性を保つために軟弱地盤に人工的な改良を行うことである。施工機に組み合わせた攪拌装置の先端からセメントスラリーを吐出させ、攪拌翼を回転させながら掘進させ、グラウトポンプから送られてきたセメントスラリーと原位置の土を混合・攪拌して柱状の改良体を作る。施工記録管理は専門の施工管理装置により自動的に施工記録を保存し施工管理の充実性を高めている。



12 ドーナツオーガー工法

低騒音、低振動。土壌にあった施工が可能。

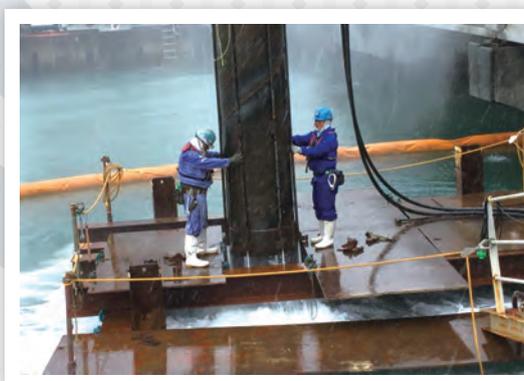
ドーナツオーガー工法とは、外側ケーシング先端の特殊な刃先と内側オーガヘッドの特殊刃先を逆転させることで地中を掘削する工法のことです。内外ユニットを逆転させるため、互いの反動トルクを打ち消し、ベースマシンやリーダーに無理がかからず、高い鉛直精度を得ることができます。施工性がよい面から杭径の拡大、削孔深度の増大、硬質地盤への使用がさかんに行われています。また、単軸による連続柱列造成工事に移行することも可能です。



13 鋼管矢板JV工法

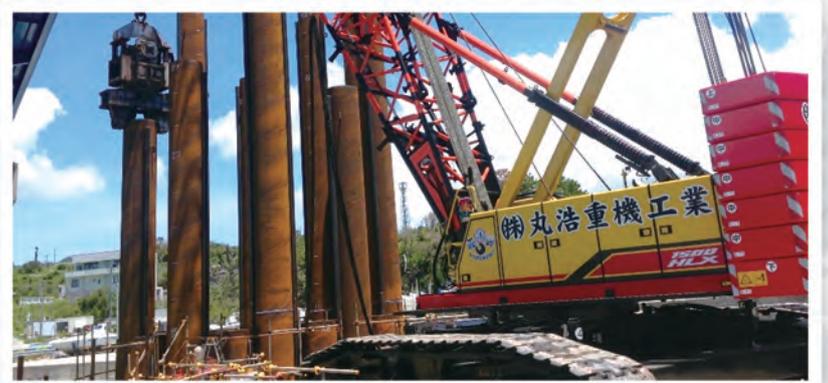
堅い岩盤をも貫く高圧水の威力

鋼管矢板JV工法は、硬質な地盤に既製杭を打込む杭打ち工法です。ジェットの高圧力水とバイブローハンマーの振動力を利用するので他の工法では施工が困難な地質の場合でも使用でき、岩盤層や玉石が混ざっている地層であっても仮設材や本設材の区別なく、都市土木、河川・港湾土木などあらゆる分野の工事において、迅速に確実に施工を行うことができます。



14 鋼管矢板打設工法

バイブローハンマーの振動を鋼管チャックを介して杭に伝え、杭周辺の土粒子間の結合を一時的に低下させ、杭の周面摩擦係数及び先端抵抗力を低減させて、バイブローハンマーと杭の自重により貫入させる工法です。環境対策を必要としない場合は電動式バイブローハンマーを、低振動・低騒音施工を求められる場合は、電動式可変モーメント型か油圧式可変超高周波型を使用する。また、硬質な中間層の打ち抜き、岩盤や玉石混じり礫層への打ち込み、大径・長尺杭の打ち込みのような、バイブローハンマー単独での施工が困難な場合には、ウォータージェット併用やオーガ併用等の補助工法を用いることにより、様々な地盤に対応することが可能となります。



15 バイブローハンマー・ ダウンザホールハンマー・ 油圧ハンマー・アースオーガー



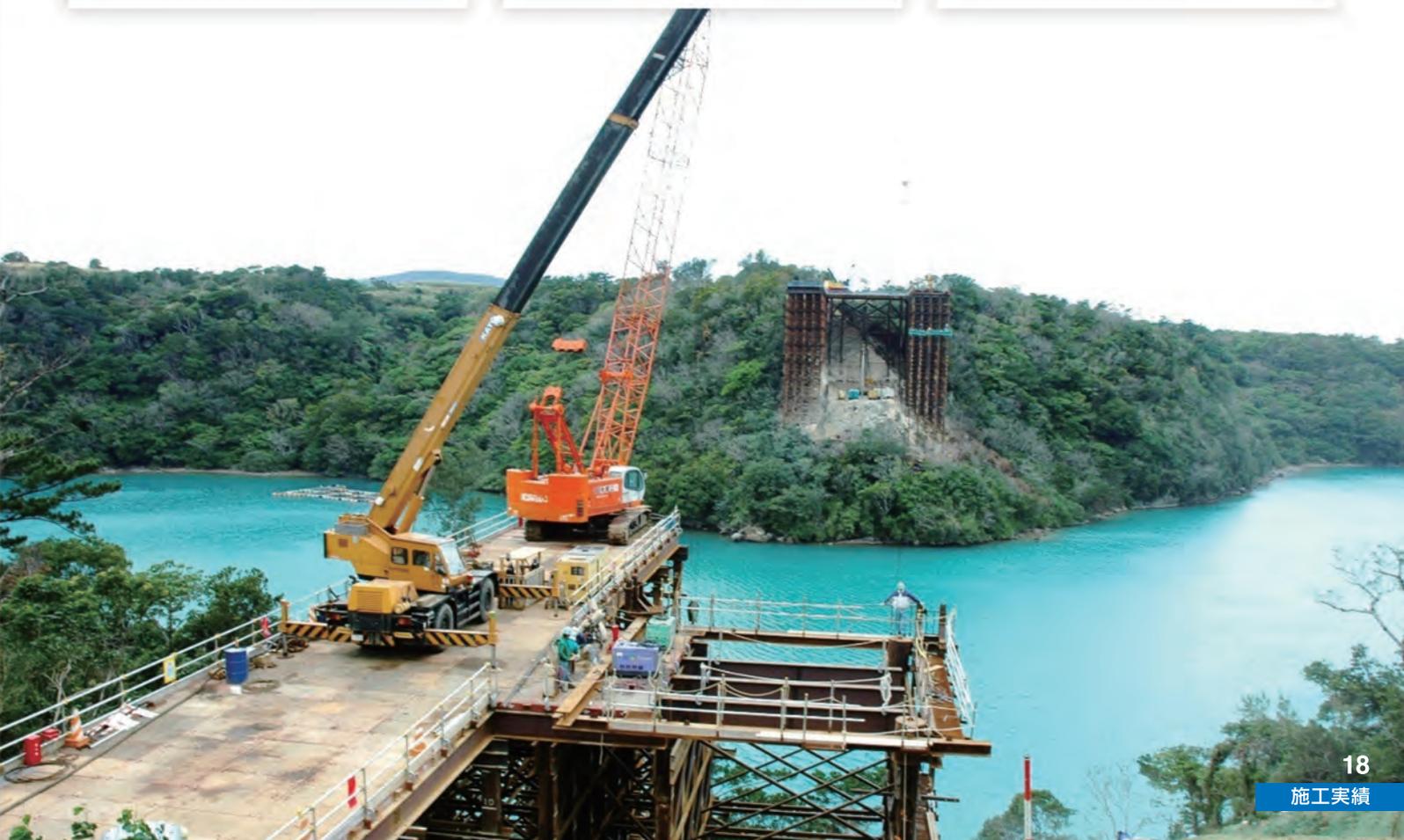
油圧オーガーモーター
岩盤掘削機ダウンザホールハンマー
ゼロ停止電動式可変モーメント型バイブローハンマー
油圧ハンマーなど搭載。
施工条件に合わせ施工可能。



ワルミ大橋架設棧橋工事

屋我地島～本部半島(沖縄県名護市我部～国頭郡今帰仁村天底)間
施工期間:2005年9月～

ワルミ大橋は、橋長315.0メートル、アーチ支間210.0メートルの上路式RC固定アーチ橋で、沖縄県道248号屋我地仲宗根線の一部を構成しています。2010年(平成22年)12月18日に開通したワルミ大橋は、合成鋼管アーチ巻立工法によるアーチ橋としては日本国内で5番目の長さの橋梁です。



施工実績

南大東漁港北大東地区 防波堤等工事(H26-4)

施工期間:2014年8月～



北大東村(きただいとうそん)は、沖縄本島の東方約360kmに位置する沖縄県最東端の北大東島と沖大東島を行政区画とする沖縄県の村です。2003年に着工した北大東島北港の岸壁工事では、主に嵩上げ行ないました。用いられた工法は鋼管中掘工。海岸沿いの硬質な地盤という過酷な状況の中で、弊社が培ってきた長年のノウハウや技術力を生かした施行となりました。





施工実績

久米島町字儀間漁港 第2防波堤整備工事 (平成27年度)

施工期間 : 2016年1月～



鋼管矢板打設工法

主に漁港の防波堤などに上げられる工法です。鋼管矢板を連続で打込み、頭部をコンクリートで被覆したものであり、機能上不透過壁とするか否かによって両者を使い分けます。波力が大きい場合や、水深が深い場合には控えに鋼管杭を打込み、組み杭とすることによって、抵抗力を増大させることができるため、浅い水深から比較的深い水深まで利用範囲が広いことが特徴です。また、マウンドを行うなどして軟弱地盤上にも築造が可能。

保有機材

最新機材で ニーズに応える 基礎工事のパイオニア

- ・クローラークレーン
- ・タワークレーン
- ・テレスコピッククレーン

主な使用目的と工事内容

- ・各種基礎工事・クレーン作業・クレーンリース
- ・クローラークレーン55t吊～大型クレーン200t吊を所有。
- ・タワークレーン90t吊～200t吊を所有。
- ・テレスコピッククレーン50t吊～90t吊を所有。
- ・組立解体時に使用する
リフターを所有。



ラフタークレーン

主な使用目的と工事内容

- ・各種基礎工事・クレーン作業・クレーンリース
- ・小型移動式クレーン
- ・4.9t吊～大型移動式クレーン130t吊を所有。



三点式杭打ち機

建設工事や土木工事の基礎を造成するために、軟弱な地盤に構造物を建築する際の基礎杭、土砂を掘削する際の支保工（仮設工）、災害時の被害拡大を防止する施設など、基礎地盤からの支持力や反力が必要とされる工事現場に用いられ、地盤中に貫入若しくは打ち込む際に用いる重機である。狭小敷地での施工、工事期間の短縮等の要因で杭打ち工法や打撃系工法、圧入系工法、掘削系工法、ハイブリッド系工法などの機能を組み合わせた多様性があると共に、小規模から大規模の工事が可能。

主な使用目的と工事内容

岩盤掘削工事、抑止杭工事、深層混合処理工事、地盤改良工事



補助機械・改良・特殊機械

工事の内容や場所によって、その内容、場所に合わせて特別に改良し使用される重機。工法に補助的に使用される機械や重機。



(サイレントパイラー)

油圧圧入・引き抜き機

自走しながら1台で圧入・引抜施工ができ、コーナー圧入及びカーブ圧入等は容易で、建設工事や土木工事で杭の打ち抜きに用いる、圧入原理を利用した油圧式杭圧入引抜機で、パワフルな掘削力、優れた機動性・操作性により、素早く効率が良く、住宅隣接地における施工にも配慮して無振動、無騒音、無削孔でパイルの圧入、引抜施工ができ、圧入機本体は軽量・コンパクトで周囲への威圧感もなく、狭い場所や傾斜地などでの施工も可能。当社はクラッシュパイラーを、沖縄県でも多数所有。

主な使用目的と工事内容

抑止杭工事、各種山留基礎工事

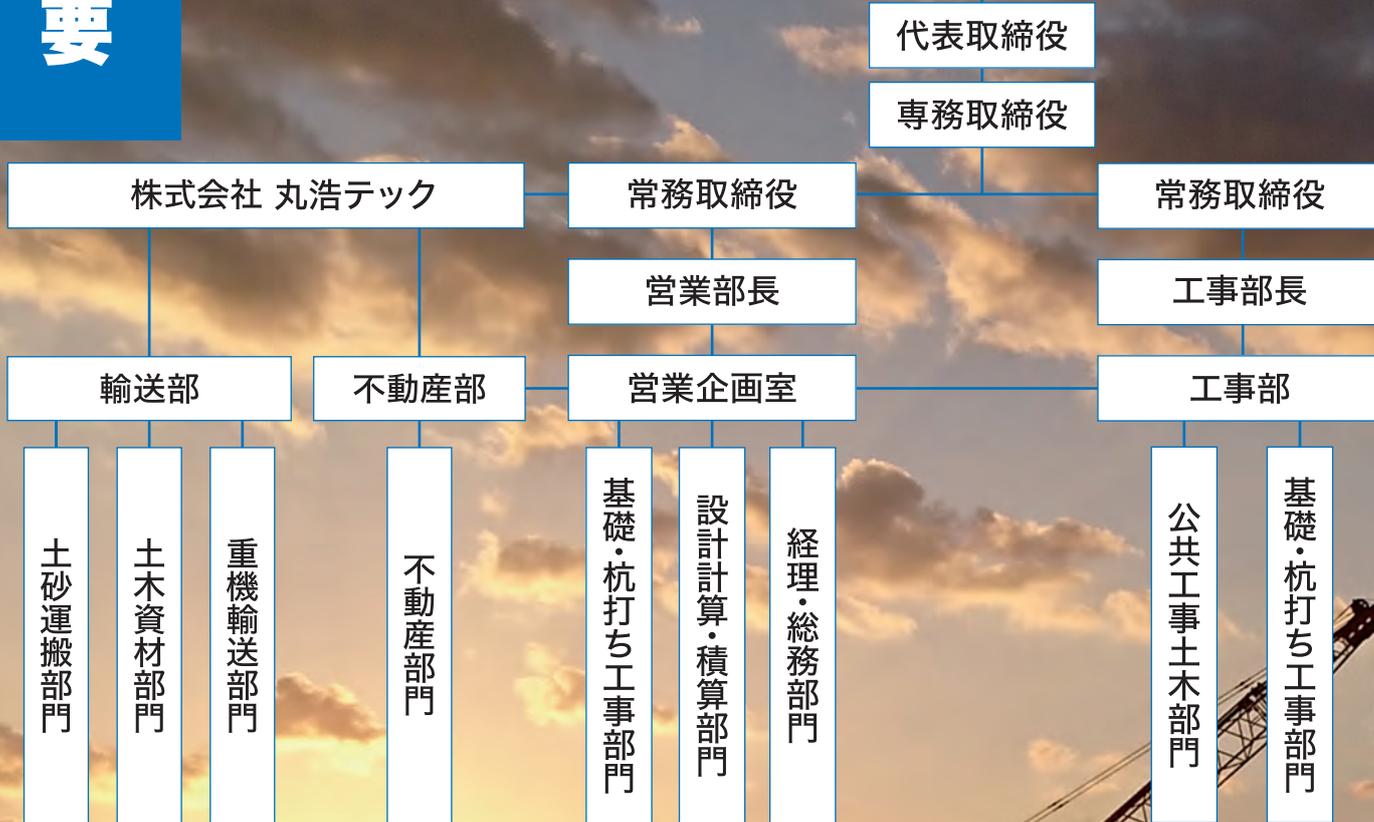


○ 福利厚生施設
自社宿舎



お客様のニーズに応える 組織形態

株式会社 丸浩重機工業



沿革

- 平成2年4月 丸浩重機工業を糸満市西崎町にて創業
- 平成7年8月 所在地を糸満市武富に移転
- 平成11年1月 社名を「有限会社丸浩重機工業」に変更
- 平成15年7月 関連会社「有限会社丸浩テック」設立
- 平成19年7月 社名を『株式会社丸浩重機工業』に変更
- 平成22年4月 ISO14001(環境マネジメントシステム国際規格)取得
- 平成24年1月 増株(200株から495株)
- 平成25年3月 ISO14001(環境マネジメントシステム国際規格)更新
- 平成25年6月 所在地を豊見城市字保栄茂へ移転
- 平成27年6月 ガイアF1パイル国土交通大臣認定
- 平成30年5月 本社を南城市大里へ移転
- 令和2年6月 本社倉庫落成



地元の小学生を対象とした出前教育を行っております

地域と共に地域第一主義

次世代の様々な施工ニーズに応えるべく、日々の業務を通して得た経験と実績を生かし、有効な工法の技術革新だけでなく、地球環境保全にも積極的に取り組んでいきます。



株式会社 丸浩テック

一般貨物自動車運送事業(一般法人-487)

産業廃棄物収集運搬業(第04704193841号)

狭い道も
楽々舵切走行!



保有車両



舵切トレーラー16輪・低床50t積載(3.20m/2.99m)
※20t積載(2.99m24h)現場搬入搬出可能

トレーラー低床(16輪・3.2)

トレーラー低床(16輪・2.99m)・(8輪・2.99m)・(8輪・2.85m)

トラクタ(20t・18t)リフトカブラー18t・シングルトラクタ

特殊(トレーラー)ステアリング(舵切あり)

10tセルフ車3台・10t・8t・6t・4t・ユニック車5台・10tカーゴ車3台

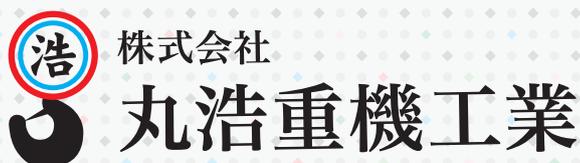
10tダンプ(パワーゲート式)15台



大地へのチャレンジ 未来への架け橋



丸浩グループ



株式会社

丸浩重機工業

【本 社】〒901-1207

沖縄県南城市大里字古堅752-1

TEL.098-945-4387 / FAX.098-945-5703

【北部営業所】〒905-1155 沖縄県名護市字我部祖河321番地

TEL.0980-52-5500 / FAX.0980-52-5533



株式会社

丸浩テック

〒901-1207

沖縄県南城市大里字古堅752-1

TEL.098-945-4389 / FAX.098-945-2255



株式会社

大鉞

鉞山業(東里鉞山)

〒901-0352

沖縄県糸満市字山城611番地

TEL.098-997-5500 / FAX.098-997-5566



Maruhiro

SL-850 株式会社 丸浩重機工業

【本 社】〒901-1207 沖縄県南城市大里字古堅 752-1
TEL.098-945-4387 / FAX.098-945-5703

【北部営業所】〒905-1155 沖縄県名護市字我部祖河321番地
TEL.0980-52-5500 / FAX.0980-52-5533

<http://www.maruhiro-jyuki.co.jp/>

丸浩重機工業

検索